# （６）令和７年度 指定管理者モニタリングレポート

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施 設 名 | 四日市市障害者福祉センター | | | |
| 所 在 地 | 四日市市諏訪町２番２号　　設置年月： 平成２年８月 | | | |
| 指定管理者 | 名　称　社会福祉法人　四日市市社会福祉協議会<br>代表者　会長　一宮　惠<br>住　所　四日市市諏訪町２番２号 | | | |
| 指定管理期間 | 令和６年４月～令和11年３月【指定管理期間５年、２年目】 | | | |
| 担当部課（問合せ先） | 健康福祉部　障害福祉課<br>TEL：059-354-8171　E-mail：syougaifukushi@city.yokkaichi.mie.jp | | | |
| 設置目的 | 身体障害者に対し機能訓練、教養の向上、社会との交流の促進等のための便宜を総合的に供与するほか、障害者に関する各種相談に応じることにより、自立と社会参加の促進を図る。 | | | |
| 設置の根拠（法令、条例等） | 身体障害者福祉法、四日市市障害者福祉センター条例 | | | |
| 施設の概要 | 敷地面積(㎡) | 2,120.00 | 延床面積(㎡) | 859.00 |
| | 設備の概要 | 四日市市総合会館<br>２階：障害者団体事務室、ボランティア活動室<br>３階：社会適応訓練室、障害者福祉センター事務室、言語訓練室、療育訓練室、軽作業室、相談室<br>４階：機能回復訓練室（健康づくり課と共用）、栄養指導室（調理室）（こども未来部と共用） | | |
| | 事業概要 | (1)障害者デイサービス（身体障害者対象）<br>(2)身体障害者の更生のための各種相談<br>(3)身体障害者福祉に関するボランティアの育成及び市民啓発<br>(4)身体障害者の福祉に係る活動に対する施設の提供 | | |

■ モニタリングの総合コメント

業務の履行状況については、条例、規則を遵守し、市と密に連絡を取りながら、仕様書等に定める業務が適切に実施されていました。

サービスの質については、指定管理者が運営する関係機関とも密接に連携しながら、利用者一人ひとりの障害特性に対応した事業を運営し、障害者の自立を支援するとともに、参加者同士の交流や社会参加の機会を提供していました。また、障害者福祉関係団体に対して、各団体の自主性、主体性を促進する観点から支援を行うなど、自立と社会参加の促進を図るという施設の設置目的に沿ったサービスが提供されていました。

社会参加と交流の機会の提供を目的に開催されている創作的活動においては、絵手紙教室を開催し、作品の制作を通して参加者同士の自然の交流が生まれ、障害への相互理解が深まった点も評価できます。

サービス提供の継続性・安定性については、事業収支に関しては省資源化に取り組むとともに、事業において不用となった支出を適切に管理した結果、収支は黒字となりました。財務諸表からも経営状態は良好であることから、施設の管理運営に特段の課題や問題はありませんでした。

以上を総合的に判断して、良好な管理運営状況であると評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、よりよい管理運営を目指して、下記の運営方針に基づき指導していきます。

・当施設運営の軸である障害者デイサービス事業や、社会参加促進事業、各種相談事業について、利用者の障害特性とニーズを把握し、創意工夫するとともに、事業の更なる周知を図り、当施設を必要とする新たな利用者が見込めるよう努めること。

・障害者福祉関係団体の活動支援において、各団体の円滑な運営及び活性化を促進するため、活動内容や課題等の把握に努めること。

・安全かつ安心に利用できるよう、引き続き、施設の適正な維持管理を徹底すること。

## 基本的な考え方（施設の性格･目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

専門職による機能訓練（理学療法・言語訓練）、創作的活動や社会適応訓練などのデイサービス事業を実施することにより、障害者の自立と社会参加の促進が図られていました。また、啓発活動についても、四日市青年会議所の70周年記念イベントへの出前という形で実施し、広く一般市民が集う場で展開できたことで、子ども連れの家族等、今まであまり接点のなかった層にも福祉を知ってもらう、体験してもらう機会となり、施設の目的に沿った適切な管理運営が行われていました。

施設の管理運営や利用者への対応については、利用者から高い信頼を得ながら、公正に実施されていました。計画に基づく事業は、仕様書等に基づき適正に実施されており、同協議会が実施している各種サービスや関係団体と連携し、最大限の成果を得るための取組みがなされていました。

## 業務内容

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

社会福祉協議会内の各部署と日常的に連携できる強みを生かしながら、これらの関係機関と密に連携し、より質の高いサービスの提供に努めていました。また、定期的に指定管理者と市担当課による会議を行い、連絡・調整が図られていました。

職員の研修については、障害者虐待防止研修や心のバリアフリーセミナーなどの外部研修への参加に加え、法人内・職場内においても定期的に研修や訓練を実施するなど、サービス向上と災害時の対応を意識した管理運営がなされていました。

### 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

社会福祉協議会として、利用者からの信頼を得ながら、適正な管理運営が行われていました。

同協議会が運営する四日市市障害者自立生活支援センター、四日市障害者就業・生活支援センター、三泗日常生活自立支援センター等が隣接して設置されていることから、これらの関係機関と密に連携し、より質の高いサービスの提供に努めていました。

また、災害が起こった際に利用者へ避難を知らせるためのプラカードを作成するなど、緊急時も意識した管理運営がなされていました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

指定管理における受託金収入（使用料）や、事業費、人件費などの支出については、社会福祉法人会計基準に基づき、会計事務に精通した担当職員によって適正に会計処理され、経理関係書類も整理されていました。また、事業にかかる事務については、各担当者が処理したものを所属長が確認し、不備がないようにしていました。毎日の利用状況や年間行事等に関する書類も整理されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

当施設は、四日市市総合会館内に設置されていることから、総合会館の警備員と連携して防犯等に努めるとともに、緊急連絡網や防災マニュアルを整備していました。

個人情報の保護については、ミーティング等を通じて職員に周知するとともに、誓約書を提出させるなど、意識向上に努めていました。保険についても、施設賠償責任保険等への加入がなされていました。

### 社会性（環境、障害者等への配慮）

職員は資源の無駄遣いを省いた業務の執行に努めていました。利用者に対しても、ゴミの分別やリサイクル等への協力を求めるなど、環境に配慮した施設運営が行われていました。また、災害時に安全に避難するための椅子型担架を配備することや、備品等の点検・整理・修理・交換を行い、利用者の安全面や衛生面に常に配慮しながら、より利用しやすい施設となるよう整備していました。

## 事業収支

### 経済性

省資源化に取り組んだことや各事業において見込んでいた手話通訳者や要約筆記者への報償費の支出が見込みを下回ったことなどから、全体の支出額は計画を下回ったものの、身体機能の維持向上と生活上の課題解決に向けたきめ細やかな支援が適切に行われていました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

財務諸表（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表）などを分析した結果、特段の問題はありませんでした。社会福祉協議会の公共性や財政基盤も含め、経営は安定していると判断しました。令和７年度を対象とした監査においても、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況について適正であるとの報告がありました。

## その他

### 障害者雇用に対する取組み

障害者雇用の対象となる職員の日勤日数の減少及び退職により、障害者雇用率は2.44%となり、法定雇用率の2.5%をやや下回っています。令和８年５月から短時間勤務の障害者を雇用する予定であり、希望や能力に応じて誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」実現のため、引き続き雇用率の改善に努めます。

# 令和７年度　四日市市障害者福祉センター　運営状況　チェックシート

## １．運営企画

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開館日数 | 242日 | 242日 | 0日 | 計画どおり開館された。 | 適 |
| 開館時間 | 9:00～17:00 | 9:00～17:00 | 計画通り | | |
| 委託・提案事業開催数 | 242回 | 242回 | 0回 | | |
| 自主事業開催数 | － | － | － | | |

## ２．利用実績

| 項目 | | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者数 | 利用者数 | 1,705人 | 1,602人 | △ 103人 | 創作的活動事業で参加登録者数が減少したことや障害者福祉講座等で参加者が減少したことにより、昨年と比べ利用者数が減少した。 | 適 |
| | 委託・提案事業参加者数 | 1,705人 | 1,602人 | △ 103人 | | |
| | 自主事業参加者数 | － | － | － | | |
| | 合　計 | 1,705人 | 1,602人 | △ 103人 | | |
| 延べ利用件数 | | － | － | － | | |
| 平均利用人数（人/日） | | 7人 | 7人 | △ 0人 | | |
| 平均稼働率（%） | | － | － | － | | |

## ３．事業収支

| 項目 | | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 収入 | 利用料金 | － | － | － | その他収入は、点字用紙の実費相当分の戻入であり、収益にはあたらない。 | 適 |
| | 指定管理料 | 35,750,000 | 35,750,000 | 0 | | |
| | 委託・提案事業 | － | － | － | | |
| | その他収入 | 0 | 978 | △ 978 | | |
| | 自主事業からの繰入金 | － | － | － | | |
| | 計 | 35,750,000 | 35,750,978 | 978 | | |
| 支出 | 人件費 | 29,233,000 | 29,894,451 | 661,451 | 〔勤務体制:正職員４人，臨時職員５人〕<br>消耗品費については、プリンタートナーの交換回数を想定よりも少なくすることができたため、計画を下回った。<br>委託料（外部講師等への報償費を含む）については、イベントや各種講座における情報保障として手話通訳及び要約筆記の関連経費が全ての回で準備されていたが、聴覚障害者の参加がなかった回は不用となったことや、創作的活動について補助講師も予定していたが、参加人数が少なく、講師1名のみとなったこと等により、計画を下回った。<br>賃借料については、障害者福祉講座の開催において、市営駐車場を使用しなかったことや、団体活動の回数が少なかったことにより、計画を下回った。 | 適 |
| | 管理費 | 5,754,000 | 3,843,842 | △ 1,910,158 | | |
| | 消耗品費 | 998,000 | 600,317 | △ 397,683 | | |
| | 燃料費 | 132,000 | 123,608 | △ 8,392 | | |
| | 印刷製本費 | 65,000 | 0 | △ 65,000 | | |
| | 光熱水費 | － | － | － | | |
| | 修繕料 | 520,000 | 217,983 | △ 302,017 | | |
| | 通信運搬費 | 178,000 | 91,227 | △ 86,773 | | |
| | 広告料 | － | － | － | | |
| | 手数料 | － | － | － | | |
| | 保険料 | 264,000 | 186,400 | △ 77,600 | | |
| | 委託料 | 1,931,000 | 1,192,971 | △ 738,029 | | |
| | 賃借料 | 1,659,000 | 1,424,336 | △ 234,664 | | |
| | その他 | 7,000 | 7,000 | 0 | | |
| | 委託・提案事業費 | 16,000 | 4,780 | △ 11,220 | | |
| | 一般管理費 | 1,560,000 | 1,611,864 | 51,864 | | |
| | 計 | 36,563,000 | 35,354,937 | △ 1,208,063 | | |
| 収　支 | | △ 813,000 | 396,041 | 1,209,041 | | |
| 自主事業 | 収　入 | － | － | － | 自主事業なし | － |
| | 支　出 | － | － | － | | |
| | 収　支 | － | － | － | | |

# 令和７年度　四日市市障害者福祉センター　運営状況　チェックシート

| 項目 | | 事業分析 | 適否判断 |
|---|---|---|---|
| 利用実績 | | 創作的活動事業で参加登録者数が減少したことや障害者福祉講座等で参加者が減少したことにより、昨年と比べ利用者数が減少した。 | 適 |
| 事業収支 | 収入 | 指定管理料とその他収入からなり、計画通りであった。 | 適 |
| | 支出 | 情報保障のための委託料が不用となったことや、障害者福祉講座の開催において市営駐車場を使用しなかったこと等が主な要因で、支出実績が計画を下回った。<br>また、プリンタートナーの消費量削減という省資源化への取り組みが経費削減にも繋がっており、日々の努力を評価する。 | 適 |

# 令和７年度　四日市市障害者福祉センター　業務の履行状況　チェックシート

| 分類 | 対象 | 項目 | 確認方法 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総則 | 業務従業者の要件等 | 業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか | 書面確認 | 体制が明確になっている | 適 |
| | 法令等の遵守 | 法令等で定められた書類を提出したか | 書面確認 | 地方自治法など各種法令・規程に関する書類が提出されていた | 適 |
| | 報告書等の提出 | 各業務計画書・報告書は提出されたか | 計画、事業報告、月次報告を書面確認 | 仕様書通り行われている | 適 |
| | | 自主事業の計画書・報告書は提出されたか | ― | ― | ― |
| | | 収支予算書・決算書は提出されたか | 書面確認 | 仕様書通り行われている | 適 |
| | 意思疎通 | 市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか | 連絡調整会議<br>ヒアリング | 都度連絡調整を行っており、十分に情報共有が行われている | 適 |
| | 各種管理記録等の整備保管 | 各種業務計画書が整備、保管されているか | 実地確認 | 整備・保管されている | 適 |
| | | 業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか | 毎月書面・実地確認 | 整備・保管されている | 適 |
| | | 整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで） | 実地確認 | 整備・保管されている | 適 |
| | | 付保している保険を市に通知しているか（更新を含む） | 書面・ヒアリング | 協定書通り行われている | 適 |
| | 非常時・緊急時の対応 | 緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか | 実地確認 | 整備・保管されている | 適 |
| | | 緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか | 報告・書面・月次報告 | 仕様書通り行われている | 適 |
| | | 事故等の報告書が提出されたか | 書面確認 | ― | ― |
| 建築物保守管理 | 点検・保守 | 点検・保守は確実に行われているか | ― | ― | ― |
| | | 法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか | ― | ― | ― |
| 設備保守管理 | 取扱説明書 | 機器等の取扱説明書が整備・保管されているか | ― | ― | ― |
| | 点検・保守 | 点検・保守は確実に行われているか | ― | ― | ― |
| | | 法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか | ― | ― | ― |
| 備品・什器等保守管理 | 取扱説明書 | 機器等の取扱説明書が整備・保管されているか | 実地確認 | 整備・保管されている | 適 |
| | 点検・保守 | 点検・保守は確実に行われているか | 実地確認 | 点検・保守は行われている | 適 |
| 外構施設保守管理 | 点検・保守 | 点検・保守は確実に行われているか | ― | ― | ― |
| 清掃業務 | 清掃 | 清掃は確実に行われているか | ― | ― | ― |
| 警備業務 | 業務等 | 業務が計画書に基づいて実施されているか | ヒアリング | 計画どおり実施されている | 適 |
| | | 不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか | ヒアリング<br>実地確認 | 総合会館の警備員と連携して行っている | 適 |
| | 鍵管理 | マスターキー等の管理は適切か | 実地確認 | 適切に管理されている | 適 |
| | 防災 | マニュアルは作成されているか | 実地確認 | 作成されている | 適 |
| 植物育成管理業務 | 樹木管理 | 剪定時期等は適切か | ― | ― | ― |
| | 花壇管理 | 四季の植栽は適切か | ― | ― | ― |
| 施設利用案内 | 行事開催案内 | パンフレット類は整備されているか | 実地確認 | パンフレット類は整備されている | 適 |
| | ホームページ作成 | ホームページは更新されているか | 随時画面確認 | ホームページの更新はされている | 適 |
| 管理システム受付業務 | 機器管理 | 研修を実施しているか | ― | ― | ― |
| | システム管理 | 更新・変更は常になされているか | ― | ― | ― |
| | | トラブルに対応したか | ― | ― | ― |

**総合コメント**

業務計画等の実施について、法令等の遵守及び仕様書等に基づき誠実に履行されていた。月例報告書等も期限までに提出されているほか、職員の配置、各種マニュアルの作成・管理、保険の加入等についても適正に行われていた。

# 令和７年度　四日市市障害者福祉センター　事業の実施状況　チェックシート

| 事業区分 | 通し番号 | 項目 | 実施計画 | 実施内容 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託・提案事業 | 1 | 言語訓練 | ・目的：言語障害のある人を対象に、言語機能訓練を行い、障害者の自立支援及び社会参加の促進を目指す。<br>・開催予定日：毎日 | 利用者の言語症状や身体の状況に合わせて、個別及び集団の訓練を行った。<br>・参加者数：416名 | 一人ひとりの状態に合わせて訓練が実施されていた。作品作りや外出活動を通した実用的コミュニケーションを意識した活動を行うグループや、より会話を中心にした活動を行うグループに分かれて訓練が行われていた。 | 適 |
| | 2 | 理学療法 | ・目的：四肢、体幹に障害のある人を対象に、理学療法士等による訓練を行い、身体機能の維持向上を目指す。<br>・開催予定日：毎週水曜日、毎月第４木曜日、月曜日（月３回） | 利用者の身体状況に合わせて、理学療法を行った。また、自宅で実施できる自主トレーニングの指導を行った。<br>・参加者数：355名 | 一人ひとりの状態に合わせて訓練が実施されていた。消毒や換気等の感染症予防対策を継続して実施されていた。 | 適 |
| | 3 | 点字教室 | ・目的：生活に必要な情報を自力で獲得できるよう、視覚障害者を対象に、点字教室を実施する。<br>・開催予定日：第１・第３金曜日 | 主に中途視覚障害者を対象に、点字教室を行った。<br>・参加者数：91名 | 視覚障害者が自ら情報を獲得できるよう支援を行った。教室の周知と新たな利用者とのつながりを高めるため、チラシを作成した。 | 適 |
| | 4 | 失語症者インターネット教室（iPad教室） | ・目的：デジタル機器を使って自ら情報を入手できること<br>・開催予定日：月曜日（月１～２回） | ・iPadを使った情報の検索方法やアプリのダウンロード方法など情報の入手方法に関する教室を行った。<br>・参加者数：27名 | 一人ひとりのペースに合わせた支援を行い、デジタル機器に慣れる機会となった。 | 適 |
| | 5 | 創作的活動 | ・目的：社会参加と交流の機会を提供すること<br>・開催予定日：第２木曜日 | 絵手紙教室を実施した。<br>・参加者数：27名 | 制作の過程で利用者同士の交流が生まれ、障害当事者同士での交流を深める機会となった。 | 適 |
| | 6 | 失語症会話<br>パートナー交流会 | ・目的：失語症の人を対象に、家族や言語聴覚士以外の人と交流する機会を設け、社会参加の場を提供する。<br>・開催予定日：毎月第１、第３火曜日 | 失語症者と失語症会話パートナーとの交流会を実施した。<br>・参加者数：160名 | 失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供し、社会参加の促進を図った。 | 適 |
| | 7 | 障害者福祉講座 | 『防災』ではぐくむ地域の支えあい～自分のこと、まわりの人のこと、一緒に考えてみませんか？<br>・開催予定日：年１回 | 障害のある人が暮らしやすい環境となること、障害者への理解を深めてもらうこと、障害当事者のエンパワメントに繋がることを目的とした講座を実施した。<br>・開催日：3/21<br>・参加者数：18名 | 障害の有無に関わらない共通のテーマとして防災を取り上げた。体験ゲームも実施し参加者同士で意見交換をする機会となった。 | 適 |
| | 8 | 出前講座 | ・目的：障害者に対する地域の理解を促進する。<br>・開催予定日：随時実施 | 「まちみらいフェスタ」ワークショップとスタンプラリーを開催した。<br>・開催日：8/31<br>・参加者数：57名 | 四日市青年会議所の70周年記念イベントへの出前という形で実施し、広く一般市民が集う場で展開できたことで、子ども連れの家族等、今まであまり接点のなかった層にも福祉を知ってもらう、体験してもらう機会となった。 | 適 |
| | 9 | 自主サークルの活動支援 | ・目的：自主サークルの活動を支援し、社会参加や交流の場を提供する。<br>・開催予定日：随時実施 | ５サークル（書道、絵手紙、粘土工芸、俳句、スポーツウェルネス吹き矢）が活動を行った。<br>・参加者数：451名 | 趣味を通じた交流の場を提供することで、障害当事者の社会参加につながった。 | 適 |

**総合コメント**

委託・提案事業については、障害者福祉講座として、障害のある人に対し、各種情報の提供を行う事業や、出前講座として、障害のある人への理解促進を目的とした事業を実施することで、障害者の社会参加に向けた支援が行われていた。

また、障害者の身体機能の維持・向上や、社会参加の促進を目的として実施された、言語訓練や理学療法等の各事業については、利用者一人ひとりの状況に合わせたきめ細やかな対応が取られていた。

# 令和７年度 四日市市障害者福祉センター　設備・備品の維持管理状況　チェックシート

| 分類 | 対象 | 項目 | 確認方法 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総則 | 意思疎通 | 市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか | 随時現地訪問<br>連絡調整会議 | 定期的な連絡調整会議の開催（月１回）の他、必要な都度連絡調整を行っている | 適 |
| | 記録 | 整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか | 実地確認 | 管理台帳に記録、保管されている | 適 |
| 建築物保守管理 | 点検保守 | 点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか | － | － | － |
| | | 不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか | － | － | － |
| | | 修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか | － | － | － |
| | 修理 | 修繕工事は適切であったか | － | － | － |
| 設備保守管理 | 点検保守 | 点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか | － | － | － |
| | | 不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか | － | － | － |
| | | 修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか | － | － | － |
| | 修理 | 修繕工事は適切であったか | － | － | － |
| 備品・什器等保守管理 | 点検保守 | 点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか | 月次報告、書面 | 行っている | 適 |
| | | 不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか | 口頭報告後<br>書面報告 | 行っている | 適 |
| | | 修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか | 口頭報告後<br>書面報告 | 報告している | 適 |
| | 修理 | 修繕工事は適切であったか | 現地確認 | 適切であった | 適 |
| 外構施設保守管理 | 点検保守 | 点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか | － | － | － |
| | | 不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか | － | － | － |
| | | 修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか | － | － | － |
| | 修理 | 修繕工事は適切であったか | － | － | － |

**総合コメント**

日頃から保守点検を行い、不具合が生じた場合は速やかに市に報告、協議して対応されていた。報告のあった備品については、交換されていた。備品の保管場所ごとにも台帳を整備し整理されていた。

# 令和７年度　四日市市障害者福祉センター　サービスの質　チェックシート

| 分類 | 対象 | 項目 | 確認方法 | 検証・分析等 | 適否 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運営業務 | 使用許可、利用料金の徴収 | サービス利用等の手続きは適切であったか | 連絡調整会議 | 仕様書通り行われている | 適 |
| | | 使用料の徴収は適切に行っていたか | 報告書確認 | 仕様書通り行われている | 適 |
| | 施設利用案内 | 行事開催案内の時期は適切か | 開催案内<br>報告書確認 | 実施の１～２ヶ月前に案内しており、適切である | 適 |
| | | ホームページは見易いか | 随時画面確認 | 画面構成･内容とも分かりやすいものであった | 適 |
| | 受付・応対業務 | 担当者の接客態度は良かったか | 実地確認 | 良好であった | 適 |
| | | 使用者に対する指導は適切であったか | 実地確認 | 適切に対応されていた | 適 |
| | | 業務従業者は名札を着用しているか | 実地確認 | 着用していた | 適 |
| | 運営業務 | 講座やイベントは満足できる内容であったか | 報告書確認 | 利用者のニーズに合わせた事業を実施していた | 適 |
| 維持管理業務 | 施設・設備の保守管理業務 | 施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか | 実地確認 | 適切に管理されていた | 適 |
| | | 設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか | 実地確認 | 適切に管理されていた | 適 |
| | 清掃業務 | トイレットペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか | － | － | － |
| | | 全体的（駐車場を含）に、見た目が清潔に保たれているか | － | － | － |
| | 安全管理業務 | 避難経路には障害物がないか | 実地確認 | 適切に管理されていた | 適 |
| | 外構・植栽管理業務 | 機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか | － | － | － |
| | | 利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか | － | － | － |
| | | 樹木・花壇は見栄え良く管理されているか | － | － | － |
| | | 草刈りや除草はされているか | － | － | － |
| | 環境衛生管理業務 | 快適に利用できる環境となっていたか | 実地確認 | 快適に利用できる環境となっていた | 適 |
| | 廃棄物処理業務 | 廃棄物は適切に分別が行われていたか | 実地確認 | 適切に分別が行われていた | 適 |
| | 備品管理業務 | 利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか | 実地確認 | 適切に管理されていた | 適 |

**総合コメント**

施設利用者一人ひとりの状況に合わせた支援を行うとともに、運営業務や維持管理業務についても、仕様書に基づき適正に遂行されていた。